

『自知』

新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでに例を見ない夏を迎えようとしています。皆さんも先が見えないことに不安を抱えているのではないのでしょうか？人はなぜ不安を覚えるのか？逆になぜ安心できるのか？この問いかけに正解はないかもしれませんが、考えられるものの一つは知識（情報）の有無ではないのでしょうか。

感染症が発生した当初、全世界の人類がこの未知のウィルスへの対応がわからず、手探り状態で日々のデータと向き合いながら、分析し、研究し、見解を示してきました。未だ特効薬やワクチンが完成したわけではありませんが、感染予防策や行動の制限を徹底することで感染拡大を防げることがわかってきたのではないのでしょうか。つまり、研究、**探求**によってウィルスに対する知識を身につけ、それを人々が行動様式に当てはめているパターンだと思います。『知る』ことで自分たちの生活様式を変えていっているのです。

同じように自分を変え、さらに輝かせるためには今の自分を『知る』必要があります。『自知』です。今の自分を知り、到達したい自分・理想とする自分を描き、『自知』より得た自分との距離を埋めていくことで安心感や達成感が得られていくのではないのでしょうか。

安心できる自分づくりのために多くの知識を求め、それを行動に移し、自らの感性で進んでいかなければならない時代に突入してきました。大変で難しい時代だからこそ『自知』と『探求』が求められていくのです。

(生徒指導部 主任 谷口 智)

【新型コロナウイルス感染対策について】

【防災訓練】

「相手を思いやり、感染させない行動が最大の自衛手段になる」**思いやりの精神**で、この危機を乗り切ることが大切です。疎遠になるのではなくお互いの気遣いこそが感染リスクを下げることになります。3密と言われる、**密閉・密集・密接**も人の気遣いにより避けることができます。換気の悪い**密閉**空間では窓を開けて自ら換気する行動をとる。**密集**にならないように相手を促し、自らも判断し行動する。そして**密接**（ソーシャルディスタンス）を保つこと、これらすべてが相手を思いやることに繋がり、自らの行動で感染リスクを抑止することができるのです。

また、相手に飛沫を飛ばさないためにマスクをすること。手洗い・消毒は、自分が触った個所からの感染を抑止し、自らの感染も抑止する。全ての人が相手を思いやり、このような行動をすることが新型コロナウイルスに打ち勝ち、「**愛が地球を救う**」ことになるのではないのでしょうか。

7月14日(火)の2限目に防災訓練が行われました。今年には石川県でも実施されているシェイクアウト訓練を行いました。シェイクアウト訓練とは、平成20年にアメリカのカリフォルニア州で始まったもので、「しゃがむ」「隠れる」「じっとする」の安全行動を一斉に行うものです。誰でもどこでも行動することができ、自分のことは自分で守るという「自助の力」を効果的に高める訓練です。生徒にはいつ行うかを知らせず概要だけを説明し、突然、災害が起きた場合を想定して行いました。

授業中に突然放送が鳴り驚いた生徒もいましたが、担当教諭の適切な指示のもとで、どのクラスでもしっかりと行動できたようです。



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

◆◇今後の予定◆◇

- 8/5 (水) 1学期期末考査 (～8日)
- 8 (土) 1学期終業式
- 9 (日) 3年S全統共通テスト模試
- 11 (火) 夏季休業 (～14日)
- 17 (月) 2学期始業式

- 9/2 (水) 登校指導 (～4日)
- 7 (月) 夏服・合服期間 (～10/9)
- 8 (火) スタディサポート (1・2年)
- 校内学力試験 (3年)
- 9 (水) 4限授業
- 保護者懇談会 (～11日)